

議会報告会実施報告書

1 開催日時 平成25年10月15日(火) 18時00分～19時40分

2 開催場所 当別町総合保健福祉センターゆとろ 多目的ホール

3 出席議員 議長 高谷 茂 会長 後藤 正洋 副会長 竹田 和雄
柏樹 正 岡野 喜代治 神林 俊一 臼杵 英男 桐井 信征
島田 裕司 市川 正 小早川 孝男 石川 和栄 稲村 勝俊
古谷 陽一 山田 明 秋場 信一 西村 良伸 (17人)

4 参加者 34人(町内20団体)

5 事務局 局長 滝本 隆志 次長 五十嵐 一夫 主幹 小川 義則 係長 浦島 卓

6 実施内容 開会・開会挨拶・議員紹介 7分
議会報告 14分
議会報告に対する質疑 8分
懇談 70分
閉会挨拶・閉会 1分

7 報告会の概要

(1) 議会報告(報告会資料 6ページ)

① 6月定例会、8月臨時会、9月定例会報告

高谷議長 議案の議決状況、常任委員会の名称変更等

神林議会運営委員会委員長 議会改革、政治倫理条例の制定、政務活動費の清算払い等

市川総務文教常任委員会委員長 ふとみ保育所修繕、青山交流館補修など増額補正審議について

稲村産業厚生常任委員会委員長 ロータリ除雪車購入、除排雪業務など増額補正審議について

古谷決算審査特別委員会委員長 委員会報告書について(全会一致で決算認定)

② 質疑

団体 青山交流館は現在使われているのか。

議会 一時、郷土資料館のように使われたことはあるが、現在は使用していない。雪害で天窗のトタンが崩れたため補修するもの。

団体 購入した除雪車はどのように使用するのか。

議会 新規購入の除雪車を委託業者に貸し出す。

団体 無償貸し付けか。

議会 有償で貸し付ける。

団体 購入金額の3286万円は貸付料で償却できるのか。

議会 お見込みのとおり。

(2) 懇談

議会 議員定数と議員報酬について意見を伺いたいが、まず資料の説明をする。他の委員会の傍聴などを含め、定例会以外でも活動がある。今日の資料について、事務局から説明する。今の説明の資料のとおり他の委員会への傍聴等を含め議員活動している。予めアンケートを提出していただいたが、27件の回答があった。議員定数については

増やすべき 1 件

現状維持 9 件

減らすべき 17 件

主な理由は

急激に減らすべきではない

15 名程度が妥当

などの意見があった。議員報酬については

増やすべき 5 件

現状維持 13 件

減らすべき 9 件

主な理由は

妥当と思われる

町財政の現状から現状維持が適当と考える

などの意見があった。アンケート結果の傾向としては、定数は減らすべきが多く、報酬は現状維持か若干減らすべきであった。一昨年の 4 月には住民から、5 名削減の請願書が出されたが当別町の現状と議会の役割を考えると 5 名削減は適当ではないとの結論で不採択にしている。その後、議会運営委員会や、議会改革推進協議会にて引き続き議員定数の協議をしておりその一環として今日議会報告会を開催した。忌憚のない意見を聞かせていただき、今後の参考にしたい。

団体 過去 24 人の議員の時から、借金地獄が始まっていた。議員が何十人いてもどうにもならなかった。極端に言えば 10 数人位で良かった。報酬は、日当とか時給、ボランティアでも良いのではないかと。図書館建設の要望があったと聞いたが、要望した方々は、出来上がった後などの、運営面での有効利用頻度等の調査を行っているのだろうか。あれば公開してほしい。人間の生死に直接関係ない事は後回しにしてはどうか。耐震化などのインフラ整備は待たなしに行っていく必要がある。当別町は自然災害が少なく暮らしやすいと思っており、近年ダムが完成し、水害の心配はなく、水道水の安全安心の供給をありがたいと思っているが借金は次の世代に背負わせてはいけない。

議会 今日、皆さんから意見を伺って、議員側からそれに対する考え方を述べることはしないが、議員の年俸等についてどの程度なのかは事務局から説明をさせます。

事務局 議員の報酬は、月額 240,000 円で、月々の報酬と期末手当を合わせて議長等の役職についていない議員の年収は、概ね 390 万円程度。

議会 今は議員年金もないので、毎月の報酬と手当だけで、一人議員を減らすと 600 万円、700 万円の削減ではない事を理解いただきたい。議会費についても 1 億円程度で、過去多い時は 1 億 8 千万円程度であったが、日当を廃止するなど歳費をカットしてきている。図書館の事については、意見としてその他の時に追加で述べていただきたい。

議会 政務活動費は清算払いとしており、活動しなければ収入とはならない。そういう陳情があったとの話であるが、陳情する方の権利であって、受け付けたから、それについて良いですよという判断をしている訳ではない。

団体 意見交換をしたが、定数を減らせと言う人はいなかった。アンケートにも書いたが増やすべきだと感じている。先程の借金地獄になったとの話は、スウェーデンヒルズの造成や、農地の排水対策などは、いずれも当時は必要な事業であったと思う。報酬は下げないで上げるべきだと思うし、当時の報酬審議会の議論の中で定めた 24 万円の議員報酬額については、当時の町長の 85 万円の 30% 以下にしたと記憶している。

団体 過去 26 名から段階的に減っており、人口も減ってきているが、定数は現状維持が良いと

思っている。議会として町民に対して何を判断してどんな事が出来たのか、もう少し積極的にアピール出来るようにするべき。議会だよりももっと工夫して読みやすくすべきで、最後まで読まないと分かりづらい。読むのに疲れる。もう少しポイントを纏めて、この人がこういう事を言って、それがどんな結果になったなど、系列立てて広報してほしい。議員報酬はトータルして390万円では高いとは思えない。逆に少ないと思う。仮に議員定数を減らすことになれば、逆に報酬を上げるべき。出席回数については、議員として出なければならない回数がどれだけあって、それに対しての出席回数が何回かを、データ化して示してほしい。議員報酬は、もう少し上げるべきだと思うし、議員活動をどれだけ行っているかなど町民に理解してもらうようもっと努力すべき。

団体 現状が17名という事だが、議員さん個人個人の意見はどうか、聞いてみたい。

議会 逆質問されたが、今日は議員個々の意見は言わない前提で臨んでいる。逆に聞きたいが実際に町づくりに参画しようという意欲ある若い人達に、定数や報酬をどのように思っているか聞きたい。

団体 進んで町づくりに取り組みたいと考えている人材が多くいる。今後そういう人材がどんどん出ていくと思う。色々な形の連携がこれから大事になっていくと思うので、そういう関係を築いて議員になってみようとの考えになると思う。

団体 町民が町政をどう考えているのか、的確に把握することが大事。平成21年3月に第5次総合計画を作成した時のアンケートでは、当別に住んで良かったと思う人が48%で、半分は満足していない。防災や国民保護、安全に関しては17%が満足していない。元気な町づくり健康福祉については、11%しか満足していない。農業については、41%と基幹産業としても半分は満足していない。町民参加と、町民の声を聞く姿勢が19%で、5人に一人しか町政に関心がないと言う結果であった。議員一人減らせば、福祉などにお金が回るので減らせという考えが多いと思う。地方交付税が無ければ、とても財政を維持していけないので、ただ議員を減らせば良いと言う事ではなく、議員の数も地方交付税の算定に入っている事などを町民にどう理解してもらうか努力していく事が問われている。定数の問題は逆に足りないのではないか。議員報酬も見合った報酬にしていかなければならないと思うので、団体長ばかり集めるのではなく、広く地域に出向いて報告するような活動をしてほしい。

議会 今日2回目の議会報告会であり、最終的には各議員が分担してグループ編成をして各地域に入っていき事を目指していく。来年、再来年に行われる議会報告会では、3~4グループに分かれて、それぞれの地域、団体に入って細かく意見交換していく。そういう体制を作っていきたいと思っている。

団体 議会改革の取り組みの情報公開についてだが、是非議会中継を実施してほしい。5年や10年前に比べ、そういった環境が激的に変わっており、初期投資がほぼ必要ない状況で議会中継は可能になっている。誰でも簡単に出来る環境である。当別町外の方で、ふるさと納税を行っている方や、若い方などは議会の傍聴は出来ない。ユーストリームを使ってもらうと記録として後から見られるので、そういった取り組みを是非お願いしたい。

議会 議会としても、議会改革の中でそういった事を踏まえて検討させていただいている。

団体 平成元年から議会傍聴しているが、議会日程の流れの中で、以前からその日に予定されている時間内で終わってしまうと止めて、その後は次の日に送ってしまう。出来れば日程を早めてでも、その日に続きの一般質問を行っていく事は出来ないのだろうか。急遽日程を早めて2日間のところを1日で終わらせる事は出来ないだろうか。情報公開する場合でも、公開した場合には逆にマイナスのイメージになると思う。傍聴する人も限られた時間の中で来ているので、もし出来るのであれば、どんどん議会の進行を送っていく事など中身を充実していく事も必要であると思う。

議会 議会の中をどう理解していただけるかとの意味での発言だったと思う。基本的に、議会が

何をどうやっているのか十分に住民の皆さんに理解していただけていない事があるのだと思う。意見交換させていただき、直接厳しい意見をいただいた。住民の考えを聞いて気づかせていただけて、参考にして検討していこうという成果に繋がっていくと思う。

団体 議員定数は適正だと思っている。議員一人当たり 1,000 前後の有権者数が必要と思っている。議員報酬は上げるべき。高齢者が悪い訳ではないが、活発な活動が出来るよう、若い人が勇気を持って議会活動に参画できるような素地を作るためにも、自分の職業は議員だと言うぐらいの気持ちでやっていただきたい。情報公開の件であるが、今から8年前に町民にアンケートを実施したが、我々が何をやっているか知っている人はほとんどいなかった。その後、職員はデスクワークだけではなく、どんどん地域に出て行って、何が必要なのか、何が求められているか、また活動を通じて、少しずつ理解していただく事が出来てきたと思う。議会報告会も3班や4班に分かれて、少なくとも1年に2回や3回やっていただいて、町民と意見交換していく事が議会改革になるし町の活性化にも繋がっていくと思う。

団体 宮司町長も現在の総合計画に沿って実施していくと方針を表明しているが、議会は計画については推進していくと全員一致しているのか。それとも議員間で意見の違いはあるのか。そういう事は議論されていないのか。町民が議会の存在感を何で図ろうとするかは、そこだと思う。一般質問でももう少し大きな所の議論が出てくる事によって議会も良くやっているもつと言っても良いなどとなるのではないか。

議会 これからだろうと思う。今回も所信表明が終わった後に、各代表が質問し会派に入っていない議員も一般質問に立ち、述べ10人が質問した。今回は宮司町長の考えている事を正したというよりは、自分たちが受け止めた事は間違いないのか確認を取ったもので、これから本当にそれぞれの考えを示しながら闘っていく事になると思う。先程の日程の問題については難しい問題で、議会側も事前に今日はどこまでいけるか考えているが、答弁する相手方の問題もあり議会側でなんでも進められるという事にはならない。出来るだけ短い時間で、日程も早く終われば早く切り上げられるよう考えており、これからそういう事には務めたいと

団体 陳情書の受付は昔も今と同じで出たら直ぐに常任委員会に付託する事となっている。当別の議会日程が新聞に出ていない理由も分かるが、石狩市などは載っており傍聴する者にとっても日程は出すべきと思う。

議会 陳情者からも要望があり、ホームページに議会運営委員会後に載せるようにしていたが議会改革の一環として、町長からの申し入れ後日程が決まったら、そこから逆算して日程を載せるようにしている。おおよそ1月くらい前に町長より申し入れがあり、その後の日程を公表できるようにしているのでいくらか改善はしている。

議会 過去、議会の中で色々なイレギュラーがあり、その度に時間が大幅に費やされ審議がストップするなど、そういった事を含めて一定程度余裕を持って日程を決めている事が仇になっている事もある。今日の意見を伺って、議員一人一人が感じている部分が沢山あると思うし今後議会改革の一つのフィルターの中で反映されると思う。定数と報酬以外の周りに付随している議員が普段気づかない部分を指摘いただいた。先程、図書館の意見をいただいた。町長の中長期の計画と整合性はとれているかの趣旨の話でした。9月の定例会で町長の答弁は、それに沿っているとの答弁であった。図書館は、今後タスクフォースを作って検討を重ね、出来るかどうかをゼロベースで考えていく事になっており、実際に出来るかどうかはまだ分からない。今後、より多くの意見をいただく事が必要。今日いただいた意見や、アンケートに回答いただいた意見を参考にしながら、今後、議会改革推進協議会、議会で協議を重ねていきたいと思う。今日、議員からは個人の意見は出さない事で参加しているので、定数や報酬について、個々の議員を掴まえて、是非意見交換をしていただきたい。

議会 非常に貴重な意見をいただいたと思う。特に、ざっくばらんな話をもっと手軽に出来るように出かけて来いという事だったので、今回で第2回目の議会報告会になるが、これを少し

づつ地域の中へおろしていき、それぞれの議員が自分たちで責任を持って町民の方に報告に行けるような体制を作っていこうと思う。今日、ご意見をいただいた定数と報酬についてはどこの議会でも今取り組んでいる、悩んでいる非常に大きなテーマ。実は日本には933の町村があり、非常に少なくなったが、そこに1万1千6百人程の議会議員がいる。一つの議会が13人平均になっていて、国民1,000人に一人の形になっている。当別町が今、1万8千人を切っているので、定数17人で、報酬もちょうど全国平均ぐらい。この議論はこれからもしっかりと続けていかなければならない。今、北海道では全国表彰を沢山受ける自治体の議会活動が数多くある。その中でも有名なのが、渡島の福島町の議会改革で議員の報酬や定数は公聴会など公開の場での議論をするが、その他に参考人と言って、プロの地方自治をやっている方を呼んで、それを町民に聞いてもらって判断してもらおうという事を、議会基本条例の中に書き込んでいる。それをやらないと決められないことになっていて、最後は自分たちで責任を持って決めて、それを町民に報告しなさいという形になっている。そういう姿勢がこれからの議会の有り方だと思うし、町民一人一人から疑義を持たれない、自分たちが胸を張って議会活動が出来るような議会にしていきたいと思っている。

8 アンケート集計結果（省略）

(1) 議員定数について

1 増やすべき(____人) 2 現状維持(17人) 3 減らすべき(____人) その理由は？

(2) 議員報酬について

1 増やすべき(____円) 2 現状維持(240,000円) 3 減らすべき(____円) その理由は？